

函館市基本構想の構成案

序論 総合計画の策定にあたって

1. はじめに
2. 総合計画の構成
 - (1) 基本構想
 - (2) 実施計画
3. 総合計画の期間と対象区域

第1章 基本構想策定の趣旨

1. 時代の潮流
 - (1) 人口減少社会への突入と東京一極集中による地域間格差の拡大
 - (2) 急激な超高齢社会の進行
 - (3) 変化するグローバル社会と競争の激化
 - (4) 地球環境の変化と食料、水、エネルギーの制約
 - (5) 安全・安心に対する国民意識の高まり
2. 基本構想策定の意義
3. 基本構想の目標年次（2026（平成38）年度）

第2章 函館市の現状

1. 人口の推移と将来の見通し
 - (1) 人口の推移と減少の要因
 - (2) 人口の将来見通し
2. 経済・産業の動向
 - (1) 現状
 - (2) 経済・産業に関するデータの推移
3. 市民の意向
 - (1) 函館市基本構想審議会による答申の概要
 - (2) 市民等アンケート調査結果の概要
 - (3) 「はこだてトークカフェ」による市民意見の概要
4. 函館市の特徴

第3章 函館市の課題とまちづくりの考え方

1. 人口減少を見据えた、優先的に取り組むべき函館市の課題

- (1) 地域経済の活性化と安定した雇用の確保
- (2) 北海道新幹線開業後のまちづくりの取組
- (3) 少子・超高齢社会への対応
- (4) 持続可能な都市の形成

2. まちづくりを進めるうえでの基本的な考え方

- (1) 時代の潮流を踏まえたまちづくり
- (2) 函館市の現状を踏まえ特徴・資源を生かしたまちづくり
- (3) 市民、行政が役割を果たし、協働を深化させるまちづくり
- (4) 未来を見据えた、計画的な土地利用を促進させるまちづくり

第4章 函館市の将来像

「活気と賑わいがあり、誰もが訪れたい、住み続けたいと思える魅力に溢れ、次世代まで続く好循環を生み出すまち」がイメージされるような将来像とします。

(参考：現計画将来像「人が輝き まちが輝く 交流都市 はこだて」)

第5章 将来像実現に向けた取組の方向性

1. 重点プロジェクト～活力循環プロジェクト

- (1) 経済再生P J
- (2) 魅力向上P J

2. 5つの基本目標

- (1) まちの賑わいを再生し、未来へ引き継ぎます
- (2) 子ども・若者を育み、希望を将来へつなぎます
- (3) いつまでも生き生きと暮らせるまちをめざします
- (4) 日本一魅力的なまち函館を次世代へ継承します
- (5) 持続可能な都市づくりを進めます

3. 基本目標達成に向け取り組む施策の体系

- (1) まちの賑わいを再生し、未来へ引き継ぎます
 - ①観光・コンベンションの振興
 - ②農林水産業の振興
 - ③商工業の振興
 - ④新産業の創出と企業立地の促進
 - ⑤学術研究機能の充実
- (2) 子ども・若者を育み、希望を将来へつなぎます
 - ⑥子ども・子育て支援の充実
 - ⑦学校教育・高等教育の充実
 - ⑧若者への支援の充実
- (3) いつまでも生き生きと暮らせるまちをめざします
 - ⑨暮らしを支える福祉の充実
 - ⑩生きがいくくり・健康づくりの推進
 - ⑪安全に暮らせる生活環境の整備
 - ⑫安定した雇用の拡大・創出
- (4) 日本一魅力的なまち函館を次世代へ継承します
 - ⑬魅力ある景観・町並み・市街地の形成
 - ⑭文化芸術の振興と歴史の継承
 - ⑮国際化・地域間交流の推進
 - ⑯陸・海・空の交通網の充実
- (5) 持続可能な都市づくりを進めます
 - ⑰都市基盤施設の機能維持
 - ⑱公共交通の再編
 - ⑲防災対策の充実
 - ⑳自然環境の保全